

うさぎ組・ひつじ組・ぞう組

聖和乳幼児保育センター

朝晩の空気がぐっと冷え込み、一気に冬の気配が近づいてきました。子どもたちは「さむ~い！」と話しながらも、元気いっぱい体を動かして園庭中を走ったり、遊具を使って遊んだりしています。

最近は、気の合う友だちと集まり、遊びの中で役割を決めたり協力したりする姿が増えてきました。その中でお互いの気持ちを伝え合ったり、聞こうとしたり、関わり合う楽しさを存分に感じながら過ごしています。「いらっしゃるよ！」「こうしたらしいんじゃない？」と自分の思いを言葉にして遊ぶ姿から成長を感じ、頼もしさが伝わってきます。

11月17日(月)からアドベントに入り、クリスマスに触れる機会が増えてきました。「クリスマスまだかなあ。」「どのかざりがすき？」と話す声が聞こえています。また、クリスマスのお話の中で神さまが私たちのために救い主を送ってくださったことを知り、その誕生を心待ちにしながらアドベントを過ごす姿が見られます。じっとお話を聞く姿には、クリスマスを待つあたたかな期待が溢れています。保護者の方へのプレゼント制作にも意欲的で、「なにいろいろかなあ。」「ハートがすきなの！」と、それぞれ想いを込めながら丁寧に取り組んでいます。楽しみにしていてくださいね。



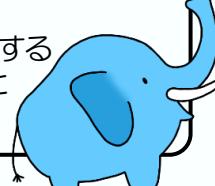
11月17日(月)からアドベントに入り、子どもたちはクリスマスのお話を聞いたり、ぞう組からペーボントのさんびかや言葉が聞こえてきて、思わず見に行ったりしながら、少しずつ本当のクリスマスの意味に触っています。ペーボントのぞう組の姿は輝いて見え、「すごいね」「いつかやってみたい」と憧れの気持ちを膨らませ、今年は聖歌隊として参加できることをとても楽しみにしています。神さまが私たちのために救い主を贈ってくださったことを知り、そのお誕生を心待ちにする中で、子どもたちは神さまの愛に出会っています。その喜びを大好きなお家の方にも届けたいという思いからプレゼント作りが始まっています。

プレゼント制作では、「お家の人が喜ぶものって何だろう？」とみんなで話し合って決めました。クリスマツツリー・クリスマスリース・絵のプレゼントなど、その中から自分で選び、どんな材料を使おうかと考えながら思い思いに制作を進めています。お家の方には、内緒で作っていて、「言いそうになったけどセーフだった。」「内緒って楽しいね！」と、友だち同士でこっそり笑い合う姿もとてもかわいらしくです。子どもたちの心がこもったクリスマスプレゼントを楽しみに待っていてくださいね。



11月17日(月)からアドベントに入りました。日々の礼拝の中でクリスマスの本当の意味を知り、ペーボントを通してその喜びをお家の方や保育センターのみんなに伝えることを楽しみにしながら過ごしている子どもたちです。様々な役に挑戦する中で、その時感じた思いや、「羊って、抱っこしていないとどこかに行っちゃうんじゃないの？大丈夫なのかな？」と疑問をみんなで分かち合ったり、イエスさまがお生まれになつた時のことを想像したりしながら子どもたちと一緒に役についての理解を深めています。どの役も大切な意味があることを感じ、一生懸命言葉やさんびかを通して伝えようと真剣な表情で表現する姿に成長を感じています。神さまが一人ひとりに与えてくださる尊い役割を喜び合いながら、子どもたちとアドベントを大切に過ごしていきたいと思います。そして、保育センターのクリスマス礼拝の日には、神さまが私たちのために救い主を贈ってくださったイエスさまのお誕生をお家の方と一緒にお祝いしたいと思います。

また、クリスマス礼拝当日は、再び“まるぼスター”が登場する予定です。「クリスマスバージョンに変えるんだ！」、とこちらも気合が入っています！楽しみにしていてくださいね。



『ハリガリ』というゲームを楽しんでいる子ども同士のやりとりの中で…

Aちゃん「あれ？これサンタさんのベルじゃない！？」
Bくん「じゃあ、もっとならそ！」
Aちゃん「これで、はやくきてくれるとおもうわ！」

ベルを鳴らしてサンタさんを呼ぼうとする子どもの発想に笑ってしまいました。

お家の方へのクリスマスプレゼントを何にしようかみんなで話し合っていた時のことです。

保育者「プレゼントはお家の人が喜んでくれることを思って何がいいか考えようか？」
Aくん「あのね、ぼくのお父さんもお母さんもぼくがあげる物みんな喜んでくれるんだ！」
Bちゃん「わたしも！この間もお菓子ちょっとあげたら喜んでくれたよ！」
Cちゃん「じゃ、なんでも喜んでくれそうだね！」

お家の方々の愛をいっぱいに感じているんだなど、心がほかほかしたひとときでした。

ある日のペーボントでイエスさまが寝ている飼い葉おけを誰が作ったのか、という話になった時のことです。

Aちゃん「飼い葉おけはヨセフさんが作ったんだよ」
Bちゃん「そうだよ！だって、絵本に描いてあったもん」
保育者「でも、遠いところまで旅に出たんだよ？重たい飼い葉おけを運べるかな？」
Aちゃん「分かった！折り畳み式の飼い葉おけを作ったんじゃない？大工さんだからできるよ！」

すると後日、Aちゃんが笑顔で「作れたよ」と、折り畳み式の飼い葉おけが保育室に登場しました。子どもの発想の豊かさを感じたひと時でした。